

地震調査研究推進本部政策委員会  
第7回調査観測計画部会議事要旨

1. 日 時 平成8年4月2日（火） 14時00分～16時45分
2. 場 所 科学技術庁第4会議室（通商産業省別館9階）
3. 課 題
  - （1）地震調査研究の目的とそのための基本方策の考え方について
  - （2）「総合的な調査観測計画」の策定に当たっての検討の考え方について
  - （3）その他
4. 配付資料
  - 資料 計7－（1）地震調査研究推進本部第6回調査観測計画部会議事要旨（案）
  - 資料 計7－（2）地震調査研究の目的とそのための基本方策の考え方
  - 資料 計7－（3）「総合的な調査観測計画」の策定に当たっての検討の考え方（案）
  - 資料 計7－（4）ワーキンググループにおける検討課題（案）  
（参考） 前回の調査観測計画部会（3／4）における主な論点
5. 出席者 

部会長	長谷川 昭	東北大学理学部教授
委員	安藤 雅孝	京都大学防災研究所教授
	石井 紘	東京大学地震研究所教授
	内池 浩生	気象庁地震火山部管理課長
	岡田 義光	防災科学技術研究所地震予知研究センター長
	我如古康弘	海上保安庁水路部企画課長
	衣笠 善博	工業技術院地質調査所首席研究官
	木下 肇	海洋科学技術センター深海研究部長
	塚原 弘一	国土地理院地殻調査部長
	萩原 幸男	日本大学文理学部教授
	平澤 朋郎	東北大学理学部教授
6. 議 事
  - （1）地震調査研究の目的とそのための基本方策の考え方、及び「総合的な調査観測計画」の策定に当たっての検討の考え方について、基本的な合意が得られた。また、資料計7－（2）について、追加的な意見があれば事務局にご連絡頂くこととなった。
  - （2）（1）を踏まえて、地震動関係の委員を追加することを確認した。
  - （3）資料7－（4）に示された4つの領域について、それぞれワーキンググループを設けて検討することが基本的に合意された。東海地域の調

査観測については、必要に応じて陸域観測及び海域観測のワーキンググループが合同して検討することとされた。また、津波についても、調査観測のあり方について検討していくこととされた。さらに、資料計7ー(4)について追加的な意見があれば事務局にご連絡頂くこととなった。

- (4) 4月10日に部会を開催し、ワーキンググループの設置を決定することとなった。